



MIHARU
Rotary

Rotary
Program

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング「我等の生業」
3. 四つのテストの唱和
4. 会長挨拶
5. 幹事報告
6. 各委員会報告
7. 友のみどころ 橋本 国春さん
8. 会員卓話 大塚 康範さん
9. 閉会点鐘

2020-21三春ロータリークラブ テーマ
明るく・楽しく・元気に活動する三春ロータリー

●早朝の三春町内 (令和3年1月20日 AM6:00)

会員卓話例会

令和3年1月21日 (木) 19:00～ 場所：若松屋旅館

会長挨拶 山口 進

皆さんこんにちは。先日の理事会におきまして、現下のコロナ禍でのロータリークラブの活動について検討した結果、本日の例会から12時15分開会で、食事は弁当というスタイルで行うことにしましたので、ご理解とご協力をお願いします。

また、本日の例会に大塚さんは、ラインでの参加となります。これからの例会の一つの形になると考えられますので、お互いに勉強して時代の流れに沿って、進化していきたいと思えます。

コロナが益々勢いを増しており、誰もが注意しなければなりません。寒さとコロナに負けず、健康管理をしっかり行って、この難局を乗り越えましょう。

来週28日の例会は、坂本町長のゲスト卓話でありますので、多くの皆さんの出席をお願いして、会長挨拶とします。有難うございました。

幹事報告 川又 暉之

1. 県中分区会長・幹事会報告 資料あり
2. 理事会報告



友の見どころ 橋本 国春さん



横書き P.3 ホルガ・クナークRI会長メッセージ

・未来を予見することはできないが、目指す方向へ向かうことはできる。どのロータリークラブでも、年に一度は戦略会議を開くことが大事・・・成功する計画の秘訣は会員のためにできること、出来ないことを考慮して道筋をたてること。

P.7 職業奉仕月間 特集「私のプライド、その仕事」

職業を通して、ロータリアンが「つくっている」ものをP.17まで20人分紹介

P.24 よねやまだより 米山から世界の町へ

2018年にロシアから、米山奨学生として島根県大田ロータリークラブに1年間おられたズソワ・エブニアさんの紹介

特に、帰国後地元ロータリークラブに参加し、自身の視野が広まったこと等

P.29 連載コミック ポール・ハリスとロータリー 第4章ロータリークラブの発足

ロータリークラブ発足時の考え、行動をわかりやすくコミックで掲載 P.36まで 最初は、世の為人の為ではなく、物の調達をロータリアンはロータリアンに注文の考え

P.45 ロータリー財団委員長からのメッセージ 「美しい環境を子供たちに残そう」

ロータリーは環境破壊にも取り組んでいる。環境保護活動こそ未来の世代への贈物

縦書き P.4 RI 2580地区職業奉仕委員会セミナー 演題「人材活性なくして事業継承なし」

講師 株式会社 舟橋屋渡辺雅司代表取締役

- ①足りるを知る ②人は仕組みやルールでは動かない ③真・善・美の追求がブランド価値を高める
- ④夢なき者に成功なし ⑤場の力をつくる人財活性化策 ⑥私の職業奉仕考

P.16 友愛の広場

立派なロータリアンになれば社員がついてくる。社員も仕事を通して、自分を磨く。

立派な人格には客が付く。

第358地区パストガバナー 佐藤千壽の言葉「安易にモノや金を与えることは奉仕ではない。

穏やかな顔、優しい言葉、他人への思いやりが奉仕」

立派なロータリアンとは、ロータリーの「知・情・意」を会得した人だとは述べられている。

会員卓話 大塚 康範さん 「脱炭素社会における職業奉仕」

再生可能エネルギー主力化に向けた制度再構築(高村ゆかり東大教授)

国は再生可能エネルギーに野心的な目標を示すべき
政策目標と現行制度との整合性を検証すべき
再生可能エネルギーは企業の競争力を高める(再生比率17%)
* 再生可能エネルギーに野心的な目標を設定する企業(SBT);世界で43社(日本は7社)が認定
* 自社仕様の電気を100%再生可能にするRE100に参加する企業は37社に拡大

2020年5月1日 日本経済新聞取材「Analysis」2021年用

従来の電力系統では再エネ導入に限界

従来の電力系統では送電線容量などのリスクがあり、電気を発電した場所ですぐ消費する「分散型電力システム」への移行が必要。

従来の電力系統システム
再生可能エネルギーシステム(デジタルグリッド)
13億人が無電化状態(内6億人がアフリカ)
* アフリカにおける電化率(特に農村電化率)は他地域と比較して非常に低い。

地域	Urban	Rural
Asia	81.0%	94.0%
South America	93.2%	98.8%
Sub-Saharan Africa	30.5%	59.9%
		73.6%

開発途上国における電化の状況

アフリカにおける電気の量り売り事業: 第1ステージ

事業内容: Prepaid Solar Charging Kiosk
デジタルグリッドリーダー(DGL, ミニサイズ)を使い、無電化地域で電力の量り売りサービスを提供する

Kenya Japan
Digital Grid Cloud
DGLの遠隔操作
Host Computer
* 電力の検出と検閲
* 検閲結果の通知
* 検閲結果の通知
* 検閲結果の通知

アフリカにおける電気の量り売り事業: 第1ステージ

第1ステージ: プロトタイプ (2012/07/01 - 2013/04/30)
アフリカ向け電力キオスク: ミニサイズのリーダー(DGL)の開発完了(3台) (1/3)
* 電気の検出と検閲、ソフトウェア/ハードウェアの設計・開発を行い、検閲結果の通知機能を実装

ソフトウェア ハードウェア

電気の「量り売り」と奉仕活動

途上国では、大規模集中発電・一方通行送配電の既存エネルギーインフラによる電気の供給は人口の半分程度で、残された人々には電力が届けられていない。
* 日本の生んだ再生可能エネルギー関連の新技术を駆使して、電気がない途上国や地域に電気を供給する事業を奉仕活動として展開できないか。

5月、無電化地域の基礎調査 w/ Kenya Power
Lodwar周辺のキオスク(内部)

無電化村向けデジタルグリッドリーダー

LEDランタン
DGL

アフリカにおける電気の量り売り事業: 第2ステージ

第2ステージ: プロトタイプ (2013/10/01 - 2013/12/31)
* プロトタイプを改良し、10月2日(土)18日(日)開催でのプロトタイプを改良した。
* 第1ステージで完成した3台のキオスクを、10月2日(土)18日(日)開催でのプロトタイプを改良した。
* プロトタイプを改良した3台のキオスクを、10月2日(土)18日(日)開催でのプロトタイプを改良した。

アフリカにおける電気の量り売り事業: 第2ステージ

5月、無電化地域の基礎調査 w/ Kenya Power
Lodwar周辺のキオスク(外観)

レンタルしたLEDランタンを使って勉強をする子供たち

2013年5月30日~6月2日、アフリカンフェア2013に出展

主催: JETRO, 経済産業省 場所: パシフィコ横浜

2013年5月、アフリカンフェア2013 出展

タンザニア大統領の他、アフリカ各国の要人、ゼジネスパーンに事業を紹介

【オフグリッドソリューションの事例】

日本からアフリカへ、無電化地域の人々にモバイルを活用したキオスク店舗網で電力を届ける「WASSHA」

SDGs: 持続可能な開発のための2030アジェンダ(世界共通の17の目標)

今年のご目標は、SDGs(2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」)に合致します。

ご静聴ありがとうございました。

- 脱炭素社会に向けて舵を切った日本。目標とする二酸化炭素の排出量を2050年に実質ゼロ(Net Zero Emission)にするのは高いハードルですが、次の世代がこのテーマに取り組むことのできる環境を今から作る事が大事です。
- ここで提案する奉仕活動は、電気がない途上国や地域に電気を提供するだけでなく、その地域の住民の職業の創出に役立ちます。そして、先進国が取り組む脱炭素社会の重要性を知るきっかけになる事業だと思えます。



Smile Box スマイルボックス

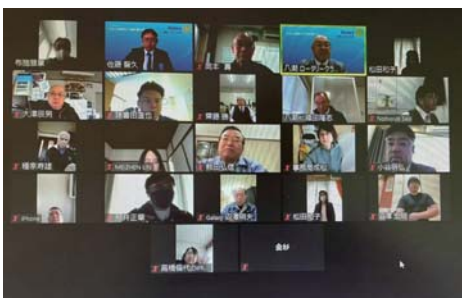
●石川 和広さん

先週、どうにも特段の事情のため例会を欠席しました。お詫びと、本日の職業奉仕委員会の大家さんの卓話を記念してスマイルします。

本日も多くのスマイルありがとうございました。
計 5,000 円

友好クラブの活動紹介

八潮ロータリークラブ(埼玉) 令和2年12月19日(火)



本日から当クラブの例会をオンライン例会として行うこととなりました。理事会で決定してから今日まで例会として成立するのかどうか不安でしたが、蓋を開けてみれば21名+米山奨学生の林さん、事務局で23名の出席、出席率換算で61.76%(暫定)となり嬉しい限りです。ZOOMに慣れていない会員の方も多かったのですが、そんな中でも多くの会員の出席があり、また私の作成したオンライン例会の手引を使ったら難なく参加できたという方もおられて、感謝に絶えません。今後は今日の例会で得た教訓をもとにより良いオンライン例会にできるよう、また出席者をさらに増やせるよう工夫していきたいと思えます。(会長・佐藤)